

1 幼稚園教育の充実

①施策の展開	幼稚園教育の充実	課名	学務課
②取組概要	幼稚園教育要領の趣旨に基づき、義務教育前の基礎を培う教育として、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた教育の充実を図るとともに、家庭・地域の子育て支援や小・中学校及び保育所等と連携した特色ある幼稚園づくりを推進する。		
③構成取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 特色ある幼稚園づくり事業 (2) 子育てステップ活用事業 (3) 地域人材活用事業 (4) ふれあい図書ルーム⁽¹⁾事業 (5) 幼稚園規模の適正化事務 		

④取組計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 様々な人たちとの交流を通して子どもの心と体を動かし、心身ともにたくましい子どもを育てられる特色ある幼稚園づくりを推進する。 (2) 幼児一人ひとりの特性に応じ、「子育てステップ」シートを活用し、保護者と子育てについて課題や成長を共有する。 (3) 幼稚園外の専門的な技術や知識を持った人材を活用し、幼稚園・家庭・地域社会の連携を強化する。 (4) 絵本の活動を通し、子どもの成長や親育ちを支援し、保護者や地域に開かれた幼稚園づくりに努める。 (5) 「公立幼稚園の運営と今後のあり方の実施計画」に基づき、公立幼稚園の効率的な運営を図る。 		
-------	--	--	--

⑤取組実績	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 23 年度～平成 25 年度は神田幼稚園を指定し、「レッツチャレンジ！～元気いっぱいの子～」として、体力づくりや伝承遊びに取り組んだ。 		
-------	--	--	--

	<p>○ 体力づくり…インストラクターを招き、基礎的運動を軸として、リズム体操・ダンス・ゲームなどの集団遊びを行った。</p> <p>○ 伝承あそび…達人の技を通じて伝承遊びへの興味や関心を持たせ、週1回チャレンジタイムを設けることで、根気強く頑張る力を育てた。</p> <p>(2) 入園から就学までの2年間にわたり、子どもの成長を見つめ、幼児一人ひとりの発達に応じ、より豊かな成長を促すよう、保護者と教員が子どもの成長の方向を共有するため「子育てステップ」を活用した。</p> <p>(3) マジック・伝承あそび・パネルシアターなど、園児・保護者・未就園児・保育所児などに楽しみを共有できる場、時間を提供した。保育所・幼稚園交流の場として人形劇を楽しんだり一緒に遊んだり、赤ちゃんの参加もあり異年齢交流の場となっている。</p> <p>(4) 6園の延べ利用者数(園児・保護者・地域の方)は年間4,644名であった。</p> <p>(5) 第24期寝屋川市幼児教育振興審議会からの答申より、公立幼稚園の効率的運営の観点から、再編成や統廃合を含めた再構築の検討を行った。</p>
--	--

⑥評価	<p>(1) 下記の取り組みにより、園児に協調性や互いに刺激し合う意欲の向上が見られるようになった。</p> <p>○ 体力づくり…水曜日は保育時間の都合上、活動が継続しにくかったため、次年度は木曜日に行うことで、短時間でも活動を継続し、より一層子どもたちの体力向上につなげるようにする。</p> <p>○ 伝承あそび…チャレンジタイムでは、伝承あそびに対する意識が高まり、様々な技に意欲的に挑戦するような姿勢が見受けられた。</p>
-----	---

- (2) 「心豊かでたくましい子」の育成をめざし、「子育てステップ」を活用することで、幼児一人ひとりの発達・個性を大切にすることができた。
- (3) 園児とともに地域の未就園児・保育所児も参加でき、活力ある幼稚園づくりの一環となった。園児と一緒に保護者も楽しみ、園児との会話が増えた、育児の疲れのリフレッシュができた、育児のヒントになったなどの感想が聞かれた。
- (4) 幼稚園利用者が減っている中で、前年度比で利用者の微増があり、身近な場所で絵本に親しむことで、地域交流の場としての役割を果たした。
- (5) 公立幼稚園就園率や多様化する市民ニーズを鑑みて、幼保一体化を含めた制度について、市長部局と連携を図り検討を行った。